

# 実習評価を落とさない無料チェックリスト

看護学生向け | 教員目線で見られているポイントを、実習中に確認しやすい形で整理しました。

このチェックリストの目的は、担当教員の機嫌を取るのではなく、評価につながる見られ方に努力の方向を合わせることです。

特に、振り返り・報告・主体性の3点を意識して使ってください。

## 1. 実習前に確認すること

評価表を事前に読み、何が見られるのかを把握している

その日の目標を「できる/できない」ではなく「何を見て、何を考えるか」で言える

患者情報を見て、観察視点や注意点を自分なりに整理している

分からない点を曖昧なままにせず、質問したい内容を具体化している

## 2. 実習中に意識すること

記録や行動の前に『なぜそうするのか』を一度考えている

指示を待つだけでなく、根拠を持って提案や相談ができています

勝手に動くのではなく、必要な場面では指導者や教員に確認している

うまくできなかった場面でも、原因や次の改善策を考えられている

## 3. 報告で評価が分かれるポイント

報告が『作業報告』だけで終わっていない

『結論 根拠 予測』の順で伝えることを意識している

『問題ありません』だけでなく、なぜそう判断したのかを言葉にしている

指摘を恐れすぎず、自分の考えを一度は出すようにしている

## 4. 振り返りで評価が上がりやすい書き方

『緊張した』『できなかった』だけで終わらず、分析まで書いている

何が原因だったのかを具体的に書いている

次にどう改善したいか、行動レベルで書いている

感想だけでなく、学びや課題を言語化している

覚えておきたいこと

実習評価は、センスや愛想だけで決まるものではありません。

『どこまで考えたか』『どう振り返ったか』『次にどう改善するか』を、評価につながる形で示すことが大切です。

作成：一匹兎.com (手術看護を考える・整理するブログ)